

令和4年6月国見町教育委員会定例会 会議録

1. 招集日時 令和4年6月15日(水) 午前10時00分
2. 招集場所 県北中学校 2階 ICT ルーム
3. 出席委員 1 番委員 高橋 幸子(教育長職務代理者)
3 番委員 中村 裕美
4 番委員 引地 亨
5 番委員 菊地 弘美(教育長)
欠席委員 2 番委員 志村 裕美
4. 説明のため出席
教育次長 東海林八重子
学校教育課長 大勝 晴美
幼児教育課長 佐藤 温史
生涯学習課長 小野 笑子
指導主事 高橋 正浩
5. 書 記 主任主査兼学校教育係長 五十嵐佐和
6. 傍聴者 なし
7. 開 会 午前10時00分
8. 教育長あいさつ
9. 会議の成立 教育長が、教育委員半数以上の出席であり、会議が成立していることを宣言した。
10. 会議録署名人 会議録の署名人について1 番 高橋幸子委員、3 番 中村裕美委員を教育長が指名した。
11. 会期の決定 教育長が会期を諮り、本日1日とすることを決定した。
12. 会議録の承認 事務局より5月定例会会議録の概要について説明し、異議なく承認された。
13. 教育長報告
(1)新型コロナウイルス感染の状況について、資料に基づき説明した。
また、60歳以上の4回目接種が6月下旬から開始となることを口頭で報告した。
(2)教育長出席会議等について
教育長の出席会議、行事等について、別紙資料のとおり報告した。
14. 議事
議案第16号 令和4年度国見町一般会計(教育費)6月補正予算に対する意見について
別紙資料に基づき、各課長より説明した。各委員からの質疑応答はなく、事務局提案のとおり採決された。
15. 県北中学校授業等視察
阿部校長・青木教頭の案内のもと、1～3年生の各授業を見学した。

16. 協議・報告

【報告事項】

(1) 国見町スポーツ推進委員の人事について

生涯学習課長より、別紙資料に基づき令和4年度からの委員の人事について報告した。

(2) 史跡阿津賀志山防塁の追加指定について

生涯学習課長より、追加指定対象地について資料に基づき報告した。

(3) 各課から

1 学校教育課報告

① 国見町教育支援センターについて

今年度新規事業の国見町教育支援センターについて、別紙のとおり報告した。

② (仮称)くにも学園構想策定に向けた意見交換について

6月1日(水)に実施した(仮称)くにも学園構想策定に向けたキックオフミーティングについて、別紙のとおり報告した。

③ 国見町給食センター運営委員会及びタウンミーティングについて

5月24日開催の給食センター運営委員会及び引地町長とのタウンミーティングについて、別紙のとおり報告した。

2 幼児教育課報告

① 新型コロナウイルス感染対策について

子どもたちのマスク着用についての対応を中心に、別紙のとおり報告した。

② 大規模災害(大地震)発生時の対応について

大地震発生時の対応手順等について、別紙のとおり報告した。

③ ボランティアによる除草作業について

6月4日実施のアサヒ電子(株)社員による藤田保育所とくにも幼稚園での除草作業について、別紙のとおり報告した。

④ くにももたん広場、つながる～むの利用制限緩和について

6月13日より、両施設の利用制限を緩和することについて、別紙のとおり報告した。

3 生涯学習課報告

① 公民館事業について

くにも観月台カレッジ「交通安全教室」について、別紙のとおり報告した。

② 地域学校協働本部事業について

「少年仲間づくり教室開講式」および「国見っ子わんぱく広場開所式」について、別紙のとおり報告した。

③図書事業について

「子ども移動図書館」、「ブックスタート」、「子ども司書講座開講式」について、別紙のとおり報告した。

④体育事業について

「町長杯スポーツ大会」について、別紙のとおり報告した。

⑤今後の予定について

青少年事業及び芸術文化事業の今後の予定について、別紙のとおり報告した。

【協議事項】

(1)『国見の子どもたちに望むこと こんな子どもに育てて欲しい』

教育長より、次回教育委員会でこのテーマについて協議をしたいと提起し、次回までに各委員の想いをまとめていただくよう依頼した。

また、各委員からは次のような意見が出された。

高橋委員：学力だけが大事なわけではない。優秀な子どもを育てても町外に出てしまうことが多いので、国見に残ってもらうようにする（教える）ことが大切。

中村委員：多様性の時代であり、結婚したくない若者が多いとの報道もある。

優秀な子どもは、自由に海外などに行ってもよいと思う。

人口を増やすためには、今住んでいる人の幸福度を上げることが重要。明石モデルと言われている医療費の無償化は国見でもやっていることだが、なぜ国見は人口が増えないのか？実情に応じた施策の展開が重要であると考える。

教育長：若者の結婚に対する意識調査は、都会でしか行われていない。地方の実際の声はどうか？

若者の転出状況について、男性は大学入学時、女性はそこをスタートに30歳ぐらいまで続くという現状である。

高橋委員：国見にいて、大学に子どもを入学させられる両親がたくさんいるのに、なぜその子どもたち（親も）はもっと上を目指すのか？結果として国見に戻って来ない。

なぜなのか当事者に聞いてみたい。

中村委員：学校生活の中では、一部の子だけが活躍し、全員が成功体験を感じられることが少ないと感じる。

引地委員：多様性・幸福度はそれぞれ違う。

ビルゲイツの成功のようなことが、日本では受け入れられづらい。仕事の上では大企業優先であり、教育はどうしても画一的になる。新しいことをやろうとしても、日本ではなかなか難しい状況である。

高橋委員：行政としては、そういった場（新しいことにチャレンジできる場）を提供する、大切にすることが重要。手仕事の大切さも感じる。

○その他

- ・7月教育委員会は7月22日(金)午後5時15分より観月台文化センターで開催予定。

17. 学校給食試食

給食センターへ移動し、学校給食を試食。

蓬田栄養士より、塩分を抑えるために味噌汁はだしをきちんと取りみその量をしていること、コロナ禍でなかなか外出できない状況が続くことから、他県の郷土食をメニューに取り入れ、子どもたちの楽しみに繋げていることなど、学校給食への工夫について説明を受けた。

18. 閉 会 午後0時50分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和4年6月15日

議事録署名人

1 番委員

3 番委員

会議書記

主任主査兼学校教育係長

五十嵐 佐和